



様式第4号（第22条、第79条において準用する第22条、第104条において準用する第22条関係）

説明会開催結果報告書

平成25年3月7日

大阪府知事 様

住所 交野市私部1丁目1番1号

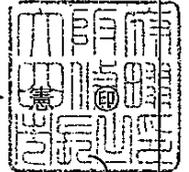
氏名 交野市

代表者 交野市長 中田 仁

住所 四條畷市中野本町1番1号

氏名 四條畷市

代表者 四條畷市長 土井 一



法人にあっては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名
都市計画決定権者にあつては、その名称
法の都市計画決定権者にあつては、その名称

電話 交野市 (072) 892-0121

電話 四條畷市 (072) 877-2121

準備書の記載事項を周知させるための説明会を開催したので、
大阪府環境影響評価条例施行規則第79条第1項において準用する大阪府環境影響評価条例第18条第3項の規定により、当該説明会の結果を次のとおり報告します。

都市計画対象事業の名称	東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業
開催の日時	① 平成25年2月13日 19時00分～20時18分 ② 平成25年2月14日 19時00分～20時5分 ③ 平成25年2月16日 15時00分～16時20分 ④ 平成25年2月16日 19時00分～20時32分
開催の場所	① 『交野市』交野市立保健福祉総合センター ② 『四條畷市』四條畷市役所東別館 ③ 『交野市』交野市立保健福祉総合センター ④ 『四條畷市』四條畷市立グリーンホール田原
参加した者の概数	交野市：6人 四條畷市：22人
開催の周知をした地域	(市広報にて周知) 交野市全域 (回覧を全戸配布にて周知) 四條畷市全域
事業者側の主な出席者	交野市都市整備部都市計画課、 四條畷市まちづくり部都市計画課、 四條畷市交野市清掃施設組合
※整理番号	

備考

- 1 説明会の会議録又は概要、説明会で配布した資料及び説明会の開催の周知に用いた書類の写しを添付してください。
- 2 ※印の欄には、記入しないでください。

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 13 日 (水) 19 : 00 ~ 20 : 18
2. 場 所 : 交野市立保健福祉総合センター (ゆうゆうセンター) 3 階「展示活用室」
3. 参加者 : (住 民) 3 名
(説明者) 交野市 都市整備部 都市計画課
交野市 環境事業部 環境総務室
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q 1.

大気質の予測評価結果をみると、バックグラウンド濃度に比べ、本事業による寄与濃度が低いが、予測手法の根拠を教えて欲しい。

A 1.

大阪府の環境影響評価技術指針に基づいて行うことになっています。方法書には、予測手法として、窒素酸化物総量規制マニュアルに基づく方法を記載しています。さらに、地形影響を加味しています。

Q 2.

予測値は、他のアセスメントの結果と比べてどうか。

A 2.

施設の規模や気象条件によって違いがありますが、予測結果としては妥当と考えています。

Q 3.

事後調査において、基準値を上回る値が出た場合や、予測値を大きく上回った場合はどうするのか。

A 3.

準備書に示した環境の保全のために講ずる措置を確実に実施し、環境の保全に万全を期して参ります。仮に、計画値が基準を超える様なことがあれば、施設を一時停止し、原因を調査の上、対策を講じます。

Q 4.

予測に用いた排出濃度は、どのような数値で予測しているのか。

A 4.

熱回収施設の煙突からの排ガス濃度は設計値で予測しています。

Q5.

ダイオキシン類の排ガス濃度を 0.1ng-TEQ/m³ から 0.05ng-TEQ/m³ に下げられないのか。

A5.

予測結果からみると、環境への影響は 0.1ng-TEQ/m³ でも寄与濃度が小さく、十分に安全性を確保できるものと考えています。また、設備は最新技術の導入に努めます。

Q6.

四條畷市にある現工場は 20 年経ったら、次は、交野市内とすることを約束したと聞いているが、新施設も 20 年で別のところに移設するのか。

A6.

焼却炉は、最近延命化の方向に進んでおり、新施設は 30～40 年程度は稼働したいと考えています。なお、次の場所については未定で、新施設が老朽化した段階で、両市で検討いたします。

Q7.

他の施設の事後測定結果は示すことができるか。

A7.

今現在示せるものはありませんが、本事業においては、事後調査計画書に基づき、排ガスの測定結果や周辺での測定結果を公表します。

Q8.

濃度等の数値が小さいが、これは大丈夫ということか。また、施設の入札方式は検討されているか。

A8.

予測評価の結果、影響は軽微であるのご説明いたしました。通常のアナウンスメントをしている中では、環境に影響を与えることはないと考えています。

プラント工事についての発注方式は価格と技術から評価し、業者を決定する予定で、決定に際しては庁内組織、学識経験者を入れた技術的審査をする組織を作り、選定する方向で検討しております。

Q9.

計画地の汚染土壌は掘削除去しないのか。

A9.

建物の高さを抑えるため、熱回収施設のところは深さ 15m 程度まで掘ります。それ以外のところは 1～2m 程度の範囲で整地し、その上に 50cm 以上の健全土で覆うことで、汚染土壌の直接摂取のないようにします。なお、掘削に伴い発生した廃棄物は適正に処理、処分します。

Q10.

ごみの減量化を進めることが重要で、進めるには、市民の参加が必要で、市民を巻き込んだ運動をお願いしたい。

A10.

環境負荷の低減に繋がりますので、市としても市民にご協力いただき、ごみの減量化を進めて

いきたいと考えています。

Q11.

排ガスの濃度が半分になると、濃度は半分になるのか。

A11.

排ガス濃度が半分になりますと、排ガス量が同じ場合は、煙突から出る物質の量が半分になりますので、着地寄与濃度は半分になります。

Q12.

拡散式の指針などはどこに示されているか。

A12.

準備書 317 ページから拡散式等を掲載しています。

Q13.

環境影響評価の手続きの中で、行政の意見とあるが、行政とは何か。

A13.

関係市の市長が環境の保全の見地から意見を述べることになっています。

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 14 日 (木) 19:00~20:05

2. 場 所 : 四條畷市役所東別館 2 階「201 会議室」

3. 参加者 : (住 民) 8 名
(説明者) 四條畷市 まちづくり部 都市計画課
四條畷市 まちづくり部 生活環境課
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q 1.

昔、パッカー車から水が道路に垂れていたが、現在走行しているパッカー車には対策を講じているのか。

A 1.

投入部から奥に押し込まれたごみから出た水は、その下のタンクに溜まり、車外に出ない構造となっています。

Q 2.

処理規模を一炉 62.5t/日としており、現施設より小さいが、炉が停止した時に、両市のごみを滞りなく処理できるのか。

A 2.

ごみの排出量及び処理能力は、ごみ処理基本計画に基づき計画しました。炉の停止等、不慮の事態の際は、ごみピットで対応することとしています。現施設よりピットを大きくしていますので、支障はありません。

また、新施設は 2 つの炉で、効率的に焼却処理を行うこととしています。

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 16 日 (土) 15 : 00 ~ 16 : 20
2. 場 所 : 交野市立保健福祉総合センター (ゆうゆうセンター) 3 階「展示活用室」
3. 参加者 : (住 民) 3 名
(説明者) 交野市 都市整備部 都市計画課
交野市 環境事業部 環境総務室
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q 1.

交野市の乙辺リサイクルセンターは、新施設稼働後どうなるのか。

A 1.

乙辺リサイクルセンターでは缶、びんを圧縮、選別しています。この設備は新施設で計画をしており、新施設稼働後は、乙辺リサイクルセンターは廃止する予定です。

Q 2.

乙辺リサイクルセンターの方が新施設より敷地が大きく、四條畷市分も共同処理し、現施設を使用したらいいのでは。

A 2.

新施設は、乙辺リサイクルセンターより大きな敷地に建設することになります。

Q 3.

土壌汚染があり、その処理に費用がかかる。どの様な対策を講じるのか。土壌を除去するのか。

A 3.

平成 22 年に事業計画地の 79 箇所で土壌調査を行いました。鉛、砒素、フッ素、ダイオキシン類の 4 物質について、土壌の基準を超えました。事業計画地全体ではなく、30m メッシュの 6 箇所で、形質変更時要届出区域に指定されています。形質変更時要届出区域というのは、土地を掘り返したりする場合には被害の恐れがあるので、しっかりと対策してくださいという場所です。

準備書では、土壌摂取によるリスクと飲み水に対するリスクを記載しており、土壌摂取については、口から土壌が入らないよう覆土をすること、飲み水に対するリスクについては上水道の整備をすることとしています。土壌汚染対策法に基づいて、大阪府の指導の下に、しっかりと対策を行うことになっています。

Q4.

交野市と四條畷市でごみの収集形態が異なっている。ごみ質の変動を考えると早く統一すべきである。収集に関する数ページの冊子とごみカレンダーは両市をひとつにまとめたものを渡してほしい。

A4.

交野市と四條畷市で異なっている部分は、平成29年度の稼働までに一定統一に努め、その中で分別方法等を住民のみなさまにお願いしていきたいと考えています。

Q5.

妙見東への風向の頻度はどうか。

A5.

妙見東へは東南東もしくは南東の風で、その風向の風はそれほど多くありません。

Q6.

大気汚染予測において寄与濃度が示されているが、人体に影響があるという点で、何を指標としてよいかわからない。

A6.

環境基準は、行政の目標として、生活環境を保全する上で望ましいレベルです。この数字がダイオキシン類では0.6pg-TEQ/m³です。国が排出源対策をとり、一般環境中の濃度は環境基準より十分下回った数字となっています。

清掃工場の寄与については、この地域は硫黄酸化物、窒素酸化物の総量規制地域内にあり、全国的にも厳しい規制が定められており、今回の計画値はそれより十分低い数値を設定しています。このため、本事業における年平均値の予測結果は環境中の濃度に影響を及ぼすような数値ではありません。

Q7.

0.6pg-TEQ/m³となれば、人体にどのような影響があるのか。

A7.

疫学的な見地から、安全性を見込んで設定されたものであり、これであればおそらく影響はないものとされています。

Q8.

方法書での知事の意見で、施設の能力について詳細に検討しなさいという項目があったが、準備書のどこに書いてあるのか。

A8.

876ページに記載しています。(準備書にて箇所を提示)

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 16 日 (土) 19:00~20:32
2. 場 所 : 四條畷市立グリーンホール田原 1 階「なるなるホール」
3. 参加者 : (住 民) 14 名
(説明者) 四條畷市 まちづくり部 都市計画課
四條畷市 まちづくり部 生活環境課
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q1.

PM2.5 が問題となっているが、工場からでてくるのか。

A1.

SPM とは、粒子の大きさが 10 ミクロンより細かい粒子です。PM2.5 は 2.5 ミクロンより小さいものですので、SPM の中には PM2.5 は含まれています。日本の工場ではばいじん対策が取られてきており、清掃工場からでる量はほんのわずかなものとなっています。また、自動車排ガス対策により、PM2.5 濃度は、日本では 2000 年以降年々減ってきています。今問題となっているのは、窒素酸化物や硫黄酸化物の排出されたものが遠くへ移流する過程で硝酸塩とか硫酸塩になる 2 次生成粒子です。計画している施設は規模を縮小し、四條畷市から交野市に移設するものですから、地域の排出量は減少しますので、PM2.5 の 2 次生成物質が周辺に影響をすることはありません。

Q2.

表の見方を教えてほしい。ダイオキシン類の排出濃度は、ナノグラム、環境濃度は、ピコグラムであるが、その違いは。

A2.

ナノグラムの千分の 1 がピコグラムです。

Q3.

風配図から、どの方向が濃度が高くなるのか。排煙の到達の範囲はどの程度か。

A3.

風配図をみると、西北西の風の頻度が多く、その風下側である東南東に影響を受けやすくなっています。地形影響も含めた予測では、東側と西側に山があり、煙突の風上側にある山による風の乱れと風下側の山にあたる影響で、計画地の西側 600m で最大着地濃度が出現しています。

ダイオキシン類の寄与濃度の水平分布図がありますが、これは着地濃度を示しています。半径

3km 内のすべての場所の寄与濃度を示しており、下田原から上田原あたりでは南に行くほど低くなっています。

Q4.

施設が供用開始された後に、想定通りになっているかどうかの評価はどのように行うのか。

A4.

排ガス濃度と環境濃度については、事後調査を実施します。大気質について、環境へのインパクトは非常に小さいですが、煙突出口濃度の確認はできると思います。

Q5.

事後調査結果はどのような時期に、どのように公開するのか。

A5.

事後調査については、大阪府環境影響評価条例に基づき、工事をする前に、事後調査計画書を大阪府に提出します。また、事後調査計画書に基づき調査した結果は、逐次、大阪府に事後調査結果報告書として提出し、大阪府はホームページに掲載することとなっています。

Q6.

大阪府のホームページでの公開だけでは不十分である。地域の人といかにコミュニケーションを図っていくのか。市広報に載せる等、情報の公開をこまめにお願ひしたい。

A6.

事業予定者としても、何らかの形で公表し、環境保全のための協議会が立ち上がれば、地域の代表の方にはまず結果をご提示していきたいと考えています。

Q7.

今後の着工予定は。耐用年数はどうか。

A7.

現在の手続きが順調に進めば、都市計画決定は9月頃、工事開始は来年1月頃、平成29年度に供用開始予定です。

一般的な耐用年数は、15～20年ぐらいですが、今の流れからも、延命化を図っていく考えです。

Q8.

経年劣化についての対策は図られているのか。年々技術が向上していくが、想定されているのか。

A8.

排ガスの計画値は、プラントメーカーのヒヤリングから乾式方式の最高水準を採用しています。これは、両市のゴミ質を考慮したものです。また、現在の炉においても排ガスの連続測定を実施し、日頃からチェックしています。また、機械を半年、1年ごとに定期点検を行い、機器の修繕、定期的な部品の交換を行うことで、性能を維持しています。20年を目処に大規模な改修を実施するのが、現在の実状です。

Q9.

事故等で工事車両、ごみ収集車の予定ルートが通れなくなった場合、どうするのか。

A9.

緊急時については、別のルートを通過する予定です。

Q10.

工事現場において、土壌の中に廃棄物が含まれているが、どうするのか。

A10.

土壌については場内で再利用し、外部には持ち出さず、廃棄物は処理業者に引き渡すことを考えています。

土壌汚染対策法に則り、50cm以上の土、アスファルト、コンクリートで覆うことを考えています。

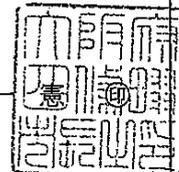
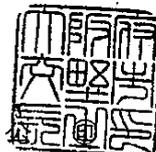


説明会開催結果報告書

平成25年3月7日

大阪府知事 様

住所 交野市私部1丁目1番1号
 氏名 交野市
 代表者 交野市長 中田 仁
 住所 四條畷市中野本町1番1号
 氏名 四條畷市
 代表者 四條畷市長 土井 一



電話 交野市 (072) 892-0121
 電話 四條畷市 (072) 877-2121

準備書の記載事項を周知させるための説明会を下記のとおり開催したので、その結果を報告します。

都市計画対象事業の名称	東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業
開催の日時	① 平成25年2月15日 19時00分～20時57分 ② 平成25年2月17日 19時00分～20時34分
開催の場所	① , ② 『生駒市』生駒市北コミュニティセンター I S T A はばたき
参加した者の概数	生駒市 : 10人
開催の周知をした地域	(市広報にて周知) 生駒市全域
事業者側の主な出席者	交野市都市整備部都市計画課、 四條畷市まちづくり部都市計画課、 四條畷市交野市清掃施設組合

備考

添付資料：説明会の会議録又は概要、説明会で配布した資料及び説明会の開催の周知に用いた書類の写し。

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 15 日 (金) 19:00~20:57
2. 場 所 : 生駒市北コミュニティセンター I S T A はばたき 2 階「201,202,203 セミナー室」
3. 参加者 : (住 民) 7 名
(説明者) 交野市 都市整備部 都市計画課
交野市 環境事業部 環境総務室
四條畷市 まちづくり部 都市計画課
四條畷市 まちづくり部 生活環境課
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q 1.

なぜ、あの場所を事業計画地に選定したのか。一般廃棄物の法律によると、地元のごみを地元で処理することが大原則になっているが、環境の面からみれば、アセスメントを行っている水や土壌とかの項目については、県境に立地することは好ましくないと思う。飲み水は重要なことであるし、大気も中国からの黄砂、PM といった広域的な問題もあるし、広い見地で、大阪府、奈良県の子供たちもそこで長く住み続けることができるような地域社会にする必要がある。

A 1.

昭和 52 年、ごみ量が右肩上がりに増加する中で、第 2 清掃工場として、交野市域の中から選定しました。その当時から反対運動があったと聞いていますが、今日まで地元のみなさんにご迷惑をお掛けしてきたことを踏まえ、事業について十分に説明をし、迷惑をかけないようにしっかりとした事業計画の立案に努めております。現在、環境影響評価の予測では、その影響はいずれも軽微であるとの結果となっております。今後、事業を進めていく中でご心配を払拭できるよう、また、稼働後の事後監視についてもしっかりと取り組んでまいり、安全、安心な施設の運転稼働に努めてまいりたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

Q 2.

現況調査のデータを示されているが、現在稼働している同様の設備において、最初はこうだった、10 年経ったらこうなった、という実際のデータはあるのか。

A 2.

ここで示した計画値は、メーカーが性能を保証できる技術的に可能な数値を示しています。また、大阪府の一般環境の環境濃度は、年々改善されてきています。また、排ガスの寄与濃度は環境に影響を及ぼす値になっていません。

データがあれば調べて、後日、質問者様に提示します。

Q3.

過去、2回説明会に出席したが、反対の声が多く、全く説明していないのではないか。

A3.

方法書としての説明会は、平成22年に生駒市で、このISTAはばたきで2回実施しています。

平成21年2月、5月に、グリーンホール田原及びISTAはばたきで、事業の手續きに着手する前段階での事業に係る説明会を開催しました。その際はたくさんの反対意見が出され、説明をさせてもらえる状況でない説明会でした。

Q4.

その説明会以降、事業は止まっていると思っていた。平成22年の説明会は知らなかった。周知は行ったのか。

A4.

平成22年8月～9月に、環境影響評価の手續きとして、方法書の公示、縦覧を実施し、生駒市域でも説明会を開催しました。その際には、みなさんにも周知するため、生駒市にお願いして、今回と同様に広報に載せて頂きました。

Q5.

ダイオキシン類はごみを1200℃以上で燃焼しないと、排ガスから出てくる。また、灰を捨てる場所がなくなってきている。どの様に考えているのか。

A5.

ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドラインに基づき、850℃以上で燃焼させ、再合成を防止するために温度を下げます。

灰については、燃え殻についてはほとんどダイオキシン類を含みませんが、集じん灰についてはフェニックスの受入基準の3 ng-TEQ/g以下にします。灰の処分については、新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会の協議結果での課題とされた「最終処分場への依存」についても十分認識しています。もっと広域的な検討が必要で、例えば、灰を利用してエコセメントにするといった設備によるものなど、将来の課題と考えています。

Q6.

ダイオキシン類は、ごみの燃焼温度を1200℃以上にしないとなくすことができない、まだまだ環境に対する技術が低い。そもそもごみを出し過ぎで、ごみ焼却施設を造らざるを得ない。また、磐船街道にはごみが散乱している、分別なんて無理、1600℃での燃焼を考えたらどうか。

A6.

日本の環境技術は世界レベルにあると考えています。全国には、何百という同様の処理施設があり、設備の技術は信頼できると思っています。重要なのは故障が少ない安定的な稼働をしていくことで、これが住民の皆さまにご理解して頂ける施設づくりになると考えています。排ガスについてはしっかりと計測し、公表していくことで、心配事を払拭していきたいと考えます。

Q7.

煙突高さより地盤が高い場所に住んでいるが、大丈夫か。

A7.

年平均値の予測では、風洞実験結果を用い、地形影響を含めた予測を行っています。最大着地濃度は、煙突に近い、標高が高い山の地形の影響を受けていますが、予測結果によると、お住まいの場所の予測値は、それより低くなっており、煙突からの距離が遠いことによるものです。

環境影響評価では、最大着地濃度がどの程度かに注目します。ダイオキシン類の現状の値は0.044 pg ですが、最大着地濃度地点においても寄与濃度が小さく、将来も同じ数値となりますので、影響がないと評価しています。

Q8.

半径5kmのところも調査するべきではないか。

A8.

この規模におきましては、この程度の距離で妥当と考えています。また、方法書の際、学識経験者で構成された大阪府環境影響評価審査会でも審査されております。

Q9.

事業開始前の説明会では、もう少し北側にずらすべきだという意見が多数あったが、検討したのか。

A9.

できるだけ事業計画地が遠くにあって欲しいとの思いからの発言と思いますが、具体的には検討はしておりません。生駒市の皆さんにはこの内容をご理解頂けるようお願いしているところであります。

「東部大阪都市計画ごみ焼却場四條畷市交野市ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価準備書」に係る説明会

会 議 録

1. 日 時 : 平成 25 年 2 月 17 日 (日) 19:00~20:34
2. 場 所 : 生駒市北コミュニティセンター I S T A はばたき 2 階「201,202,203 セミナー室」
3. 参加者 : (住 民) 3 名
(説明者) 交野市 都市整備部 都市計画課
交野市 環境事業部 環境総務室
四條畷市 まちづくり部 都市計画課
四條畷市 まちづくり部 生活環境課
四條畷市交野市清掃施設組合
一般財団法人 日本気象協会

4. 質疑応答の内容

Q 1.

オオタカの調査は、1km の範囲としているが、どのような調査範囲としたのか。

A 1.

調査地点として 2 地点を選定し、事業計画地の周辺約 1km の視認できる範囲を観察しました。環境影響評価の調査では、観察員が望遠鏡で視認できる範囲もしくは約 1km の範囲で調査を実施しています。

Q 2.

設置場所の選考について説明がなされていない。地元との合意形成を得た地区、協定書、覚書を交わしたところはどこか。

A 2.

建設予定場所については、準備書の候補地の立地評価の経緯に記載しております。地元との合意については、四條畷市下田原区と四條畷市が合意書を交わしています。

Q 3.

私の試算では、工事費に 400 億円かかるが、補助金を 50 億とすると、350 億円ぐらいが税金である。財政面について、市民に説明されたか。

A 3.

事業費については、基本設計で熱回収施設 83 億円、リサイクル施設 17 億円、建設費全体で 101 億円、それに、用地購入費、造成費も含めて総額 132 億 6 千万円を見込んでいます。内訳としては、国の交付金、起債、一般財源の予定です。これらを記載した基本設計（概要）は公表しております。

Q4.

四條畷市清滝の現施設は、どのようにする計画か。また、その費用はどの程度か。

A4.

新施設稼働後は廃止する予定で、撤去計画は新施設の建設に着手してから計画を検討します。撤去費用は試算していません。

Q5.

ボイラーの燃焼温度は。

A5.

炉内の燃焼温度は、850℃以上とする計画です。

Q6.

風配図では、西北西の風が最多風向となっているが、煙突排出ガスの予測計算において、最大着地濃度が西側に出現している理由は。

A6.

風配図では、西北西の風が最多風向となっています。また、東よりの風も風向の頻度が多いところがあります。したがって、東側と西側で影響を受けやすいこととなります。

予測計算では風洞実験で地形の影響も考慮しており、濃度は計画地の東側と西側で高く、風向頻度が高いことだけでなく、東側と西側に山があり、煙突の風上側にある山による風の乱れと、風下側の山に風があたる、その影響となっています。

Q7.

煙突の高さの評価のところで予測結果が示されているが、ひかりが丘が最大となっているが、先ほどの最大着地濃度地点と違うところで高いという理由は。

A7.

煙突高さの評価に用いた地点は、現地調査を行った住宅地5地点の寄与割合を示しておりますが、寄与濃度は、最大着地濃度地点が、ひかりが丘よりはもっと高くなります。

Q8.

煙突が高くなるほど濃度が低くなっているが、煙突を59mにした理由は。

A8.

景観と大気汚染から検討しましたが、大気汚染については、ひかりが丘住宅地をみますと、将来の環境濃度に対する本事業の寄与率は、ダイオキシン類が高度40mで0.5%、高度59mで0.4~0.5%程度であることから、高度59mであっても十分であると判断しました。

Q9.

事後調査の方針で、一定期間とはどの程度か。

A9.

周辺環境については、稼働後1年間の予定です。

Q10.

事業計画地内では、すべての猛禽類の営巣が見られなかったということか。

A10.

そのとおりです。

Q11.

事業計画地周辺の猛禽類の調査は、春から秋の一つのシーズンのみ調査したのか。

A11.

準備書に記載しておりますが、調査にあたっては事前に予備調査を実施した上で、現地調査を実施しました。

予備調査は、現地調査の前年の4月と5月に、範囲は事業計画地及び周辺約200mの範囲で猛禽類の営巣の確認を行いました。事業計画地の近くに営巣の兆候があれば、次の年の本調査で内容を再検討しないといけないため、1年目の調査で、事業計画地周辺での営巣状況を確認し、2年目の調査では現状の状況を調査することとしました。

Q12.

以前の資料で、海域生態系が調査項目に入っているが、調査は行わないのか。

A12.

大阪府の環境影響評価条例に基づく環境項目には海域生態系が項目としてあり、アセスとは何かという説明の中で、それが記載されていると思いますが、本事業では調査項目としては選定していません。

Q13.

新しい施設、現施設の維持費はどれくらいか。

A13.

新施設の維持費についてはこれからになります。現施設では多少工事により変動がありますが、予算で年間8億円前後です。